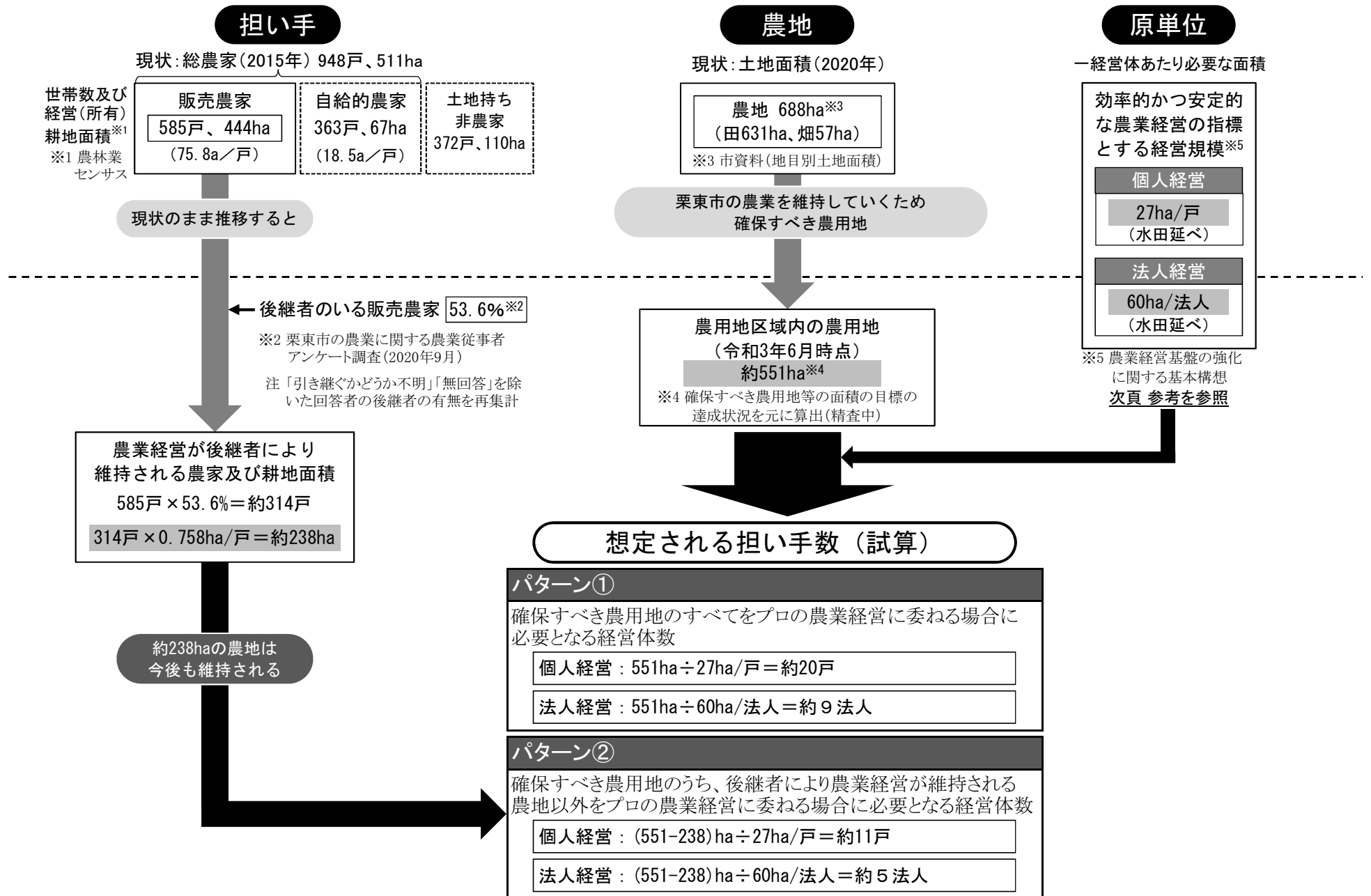


最小人数の担い手による農業経営を想定した場合の試算結果(シミュレーション)

※本市の確保すべき農用地面積に対して、最小限何人の担い手がいれば営農が可能かを既存データより試算しました。

資料 2
第 4 回基本計画等策定委員会
2021. 10. 01



(参考) 農業経営の規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等に関する営農の類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標 (農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想)

1. 土地利用型

(1) 個別経営

営農類型	経営規模
水田作	水田延べ 27ha (水稲・麦・大豆+作業受託)

(2) 法人経営

営農類型	経営規模
水田作+露地野菜 (従事者2名+常時雇用2名)	水田延べ 60ha (水稲・麦・大豆・野菜)

(3) 集落営農経営

営農類型	経営規模
水田作 (1集落)	水田延べ 30ha (水稲・麦・大豆)

・集落営農経営における所得は、集落全体における所得とする。

2. 園芸・畜産・複合経営

営農類型		経営規模
野菜	露地野菜+水田作	水田 18ha (露地野菜+水稲・麦・大豆+作業受託)
	施設野菜専作経営	パイプハウス 5,000m ² (軟弱野菜)
	施設野菜専作経営+観光農園+加工	パイプハウス 2,500m ² (果菜類)
花き	花き専作経営	パイプハウス 3,000m ² (施設花き)
果樹	果樹専作経営 観光果樹園、加工	パイプハウス 2,500m ² (果樹)
		露地栽培 5,000 m ² (果樹)
畜産	養鶏	養鶏 1,000羽 (鶏卵)

最少数の担い手による農業経営を想定した場合の試算結果（シミュレーション）
 想定される担い手の配置イメージ（パターン①）

